

■ 株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月に開催
剰余金の配当基準日	
期末配当	3月31日
中間配当	9月30日
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座 口座管理機関	
同 連 絡 先	〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号
(お問合せ先)	三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 電話(通話料無料) 0120-094-777
公 告 方 法	電子公告により行います。 公告掲載URL http://www.g-7holdings.co.jp/ (ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。)
単 元 株 式 数	100株
上場金融商品取引所	東京証券取引所 (証券コード7508)

ご 注 意

- (1) 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- (2) 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、左記特別口座口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国本支店においてもお取次ぎいたします。
- (3) 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

当社に関する情報はホームページでもご覧いただけます。

<http://www.g-7holdings.co.jp/>



オートバックス・業務スーパーで躍進する

株式会社 **G-7 ホールディングス**

本社 〒654-0161 神戸市須磨区弥栄台3丁目1番地の6
TEL 078-797-7700 FAX 078-797-7710

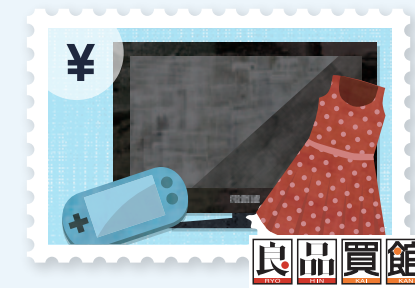
UD
FONT



株 主 通 信

第40期 年次報告書

平成26年4月1日～平成27年3月31日



オートバックス・業務スーパーで躍進する

株式会社 **G-7 ホールディングス**

成長性と収益性を高め、 さらなる企業価値の向上をめざす。

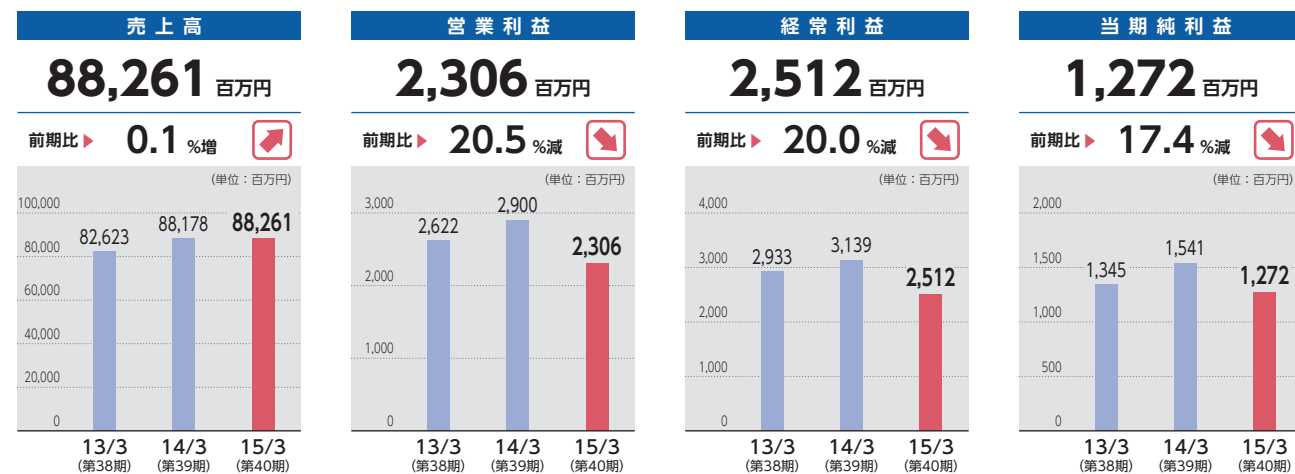
当社グループは、株主をはじめステークホルダーの皆様へ支持され続ける企業であり続けるために、既存事業を基盤としながらも、より収益性の高い事業、より大きな市場へと積極的に参入し、持続的成長を図ってまいります。そして、創業40周年にあたる平成28年3月期には、売上高1,000億円、経常利益40億円を達成したいと考えています。



代表取締役会長 木下 守

代表取締役社長 金田 達三

■ 財務ハイライト



Q 当期の業績とその要因について ご説明ください。

A 第40期(平成26年4月1日～平成27年3月31日)の当社グループは、「経費削減、一人当たり生産性向上、適正在庫」のグループ方針を徹底し、個店収益力の強化に取り組みました。また、感謝祭やG-7モールフェスティバル等のイベントをグループ全社一丸となって実施し、集客アップに努めました。

以上の結果、当連結会計年度の売上高は88,261百万円(前年比0.1%増)、営業利益は2,306百万円(同20.5%減)、経常利益は2,512百万円(同20.0%減)となり、当期純利益は1,272百万円(同17.4%減)の増収減益となりました。

その要因として、オートボックス・車関連事業が、「オートボックス」を千葉県に2店舗、岡山県に1店舗、「バイクセブン」を千葉県に1店舗、マレーシアに1店舗オープンしたものの消費税増税による消費の低迷が大きく影響するとともに、



めぐみの郷PB商品「アーモンドバター」

は、「業務スーパー」を兵庫県に1店舗、埼玉県に1店舗、神奈川県に1店舗、北海道に3店舗オープン。千葉県では、1店舗をリニューアルオープンしました。その結果、消費税増税

による多少の影響があったものの、業務スーパーの売上が堅調に推移したことや、こだわり食品事業において、消費税増税の影響は見られず、引き続き取引先の新規開拓および商材の発掘により好調に推移して、増収増益を達成しました。



めぐみの郷PB商品「ドレッシング各種」

Q 来期の事業方針と具体的な施策をお聞かせください。

A 第41期(平成27年4月1日～平成28年3月31日)につきましては、金融緩和をはじめとした経済政策による企業収益の回復に期待感が出てきているものの、小売業全体は業際を超えた激戦が予想されます。また、雇用や所得動向など先行きは不透明で、厳しい経営環境が続くものと思われます。このような状況が予想されますが、当社グループとしましては「経費削減、一人当たり生産性向上、適正在庫」の方針を引き続き実践し、個店収益力の強化に徹底して取り組むとともに、日本国内で培ってきたノウハウと経験を生かした海外での店舗展開により、グローバル化を加速してまいります。

創業40周年を迎える第41期の連結業績につきましては、売上高100,000百万円(前期比13.3%増)、営業利益3,700百万円(前期比60.4%増)、経常利益4,000百万円(前期比59.2%増)、親会社株主に帰属する当期純利益は2,100百万円(前期比65.0%増)の達成を目標にしています。

Q 中長期の成長戦略について お聞かせください。

A 当社グループの事業環境は、国内需要が縮小傾向にあるとともに、業界の垣根を越えた企業間競争が一段と激しさを増し、今後も厳しい市場環境が続くものと予想されます。

このような中、当社グループは、持続的な成長を図るための課題として、「収益向上」「人材育成」「市場開拓」「東南アジア進出」の4つの取り組みに注力してまいります。

まず、収益向上への取り組みは、経費削減、店舗在庫の適正管理など、グループ全部門のコストを見直すとともに、一人当たりの生産性を高めて、収益率の向上に努めてまいります。

2つ目の人材育成への取り組みでは、専門知識や情報などの提供を通じて、顧客満足を与え続ける人材を教育することにより、ファンづくり、生涯顧客づくりに取り組んでまいります。

3つ目の市場開拓への取り組みでは、各事業間でのシナジーが期待できる業種・業態に対して、積極的にM&Aや提携等の手法を用いてグループ全体の業容拡大を目指してまいります。



「いちごファーム」

最後の東南アジア市場への取り組みにつきましては、日本国内での事業展開において培ってきたノウハウと経験を生かし、東南ア

ジアを中心とする海外に現地法人を設立し、自動車関連、食品スーパー関連や飲食関連の店舗展開と、アグリ事業でグローバル化を加速させてまいります。

これら4つの取り組みを通じて、中長期の持続的な成長を目指してまいります。また、事業の拡大・成長に伴うコーポレート・ガバナンスの充実やコンプライアンス体制の強化、リスク管理などにも注力し、社会からの信頼と共感を得られるよう努めてまいります。

Q 株主の皆様へのメッセージを お願いします。

A G-7グループは、中長期にわたる安定成長と財務基盤の確立を経営の基本方針としております。また、株主の皆様ならびにステークホルダーの方々のご期待に應えるため、多彩な事業分野で収益性を高め、さらなる企業価値の向上に努めてまいります。

株主の皆様への利益配分につきましては、安定配当の継続を前提に、業績に応じた利益還元を実施すべく努力しており、将来の事業展開のための再投資、財務基盤の強化に努めるなかで総合的に勘案して決定してまいります。

このような方針のもと、当期の配当につきましては、中間配当金を1株当たり15円、期末配当金は、普通配当として1株につき15円(年間30円)といたします。

株主の皆様におかれましては、今後とも変わらぬご指導、ご鞭撻を頂戴いたしますよう心よりお願い申し上げます。

G-7・オート・サービス G-7スーパーマート G-7デベロップメント G-7モータース G7ジャパンフードサービス G-7アグリジャパン

～不動産から物販まで～ 複合商業施設の開発・運営により、新たな価値を創造

株式会社 G-7 デベロップメント

G-7グループ企業のオートボックス、業務スーパーなどの不動産・テナント開発をはじめ、さまざまな不動産関連事業を展開。G-7グループの各業態およびテナントによる大型駐車場付の複合施設の開発・運営(G-7モール事業)にも注力しています。また、「生活に密着した商品」のリユース事業として、「良品買館」の店舗運営と100円ショップ「ダイソー」の店舗運営も行っています。

■店舗紹介



G-7モール



G-7モールフェスティバル



良品買館



ダイソー/メガリサイクル王国



<http://g-7development.com/>

ホームページでは、事業紹介や店舗案内などの情報を掲載しています。

会社概要

株式会社G-7デベロップメント
設 立 平成14年1月
資本金 5,000万円
代表者 代表取締役社長 朝田 充洋
本 社 〒654-0161 兵庫県神戸市須磨区
弥栄台3丁目1番地の6
TEL:078-797-7708

世界へ、そして未来へ飛躍する G-7ネットワーク

日本から世界へ、未来に向かって幸福を呼ぶサービス・商品を提供しています。



(平成27年5月31日現在)

新店舗情報

お客様とともに歩みながら暮らしを応援するG-7グループ新店舗の数々。

バイクセブン

マレーシアにバイクセブン2号店オープン

G7 RETAIL MALAYSIA SDN. BHD.は2014年11月、マレーシア・クラン市のオートバックス クランセントラル店内に同国において2店舗目となるバイク用品専門店バイクセブン クランセントラル店を新規オープンしました。

クラン市は、首都クアラルンプールのベッドタウンに位置し、通勤渋滞を回避するためにバイクを利用する人が多く存在しています。このようなお客様のニーズに応えるべく、バイク用品および関連商品の販売と点検・整備などを行い、四輪車に対応したオートバックスとの集客の相乗効果を見込んでいます。また、2014年10月1日より開始したインターネット通信販売のショールームの機能も併せ持ち、インターネットに掲載されている商品の実物を確認できる店舗となります。



バイクセブン クランセントラル店
マレーシア[2014年11月開店]

黄金カレー

ベトナム・イオンモール2号店にグランドオープン

G7 VIET NAM BINH DUONG CO., LTD.は2014年11月、ベトナム・イオンモール2号店に同国においてG-7グループ初となる日本式カレー専門店「黄金カレー ビンズオンキャナリー店」をグランドオープンしました。

近年、東南アジアで日本食が人気を集めていますが、ベトナムではタイカレー・ココナッツカレーが主流で、日本式の「カレー専門店」はあまり見かけません。その中で、「黄金カレー」はこだわりのスパイスを効かせながらもマイルドで、お子様から大人まで食べやすく、トッピングも豊富に取り揃え、お好きな組み合わせをお楽しみいただけます。

ベトナム国内でのライセンス展開および他国での出店の足掛かりとなるよう現地の皆様に愛される店づくりに力を入れ、さらに積極的に事業展開を進めてまいります。



黄金カレー ビンズオンキャナリー店
ベトナム[2014年11月開店]

TOPICS

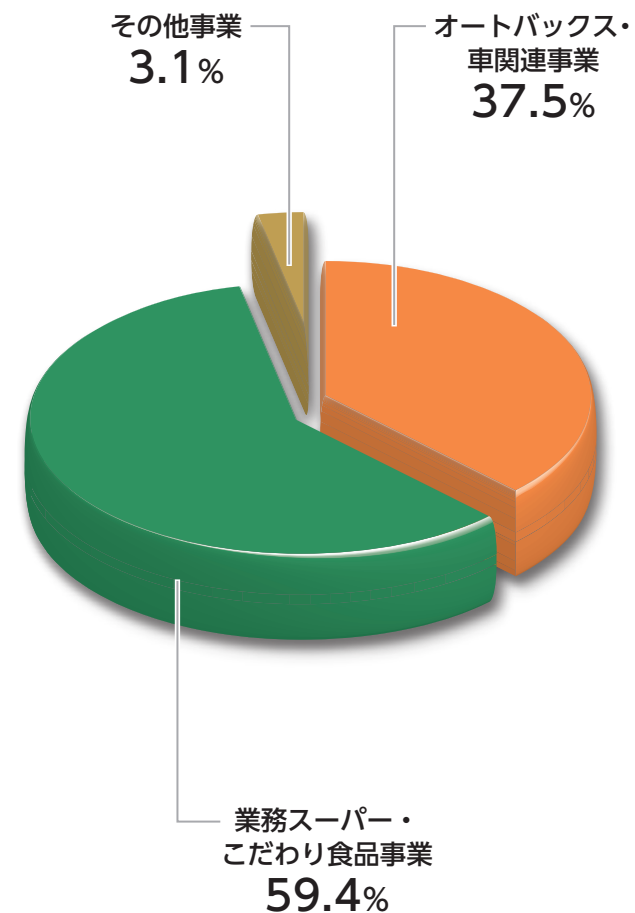
東北復興の一翼を担い、 仙台で「めぐみの郷」契約が締結！

株式会社G-7アグリジャパンは、同社が提供する農産物直売所「めぐみの郷」ライセンス加盟契約を、株式会社ふるさとファームとの間で締結。宮城・仙台に「めぐみの郷」第1号店が誕生する運びとなりました。農産物の直売・宅配が主な事業の一つである株式会社

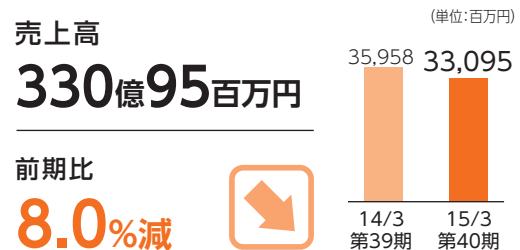
ふるさとファームが培った農業者のネットワークを利用し、東北地方の新鮮・安全な野菜や果物が、関西エリアにある「めぐみの郷」店舗に入荷・販売できるようになります。また、関西エリアから、ライセンス加盟店へ新鮮農産物を提供することができます。



売上高構成比



オートバックス・車関連事業



オートバックス・車関連事業につきましては、消費税増税の影響による消費の低迷、高額商品等の買い控え等により売上は前年を下回りました。出店につきましては、「オートバックス」を千葉県に2店舗（館山バイパス店、富津店）、岡山県に1店舗（真庭店）、「バイクセブン」を千葉県に1店舗（木更津金田店）、マレーシアに1店舗（クランセントラル店）オープンしました。これにより、売上高は33,095百万円（前連結会計年度比8.0%減）、営業利益は1,124百万円（同40.4%減）となりました。



オートバックス 富津店

主要品目

車（四輪・二輪）関連用品、部品、車両販売

運営子会社

G-7・オート・サービス、G-7モータース、他

業務スーパー・こだわり食品事業



業務スーパー・こだわり食品事業につきましては、消費税増税による多少の影響はありましたが、業務スーパーの売上が堅調に推移しました。出店につきましては、「業務スーパー」を兵庫県に1店舗（三田インター店）、埼玉県に1店舗（本庄早稲田店）、神奈川県に1店舗（羽鳥店）、北海道に3店舗（上野幌店、八軒店、千歳店）オープンしました。また、千葉県で1店舗（花見川店）をリニューアルオープンしました。こだわり食品事業においては、消費税増税の影響は見られず、引き続き取引先の新規開拓および商材の発掘により好調に推移しました。これにより、売上高は52,420百万円（前連結会計年度比6.4%増）、営業利益は1,447百万円（同3.7%増）となりました。



業務スーパー 本庄早稲田店

主要品目

冷凍食品・加工食品販売、厳選食品の卸販売

運営子会社

G-7スーパーマート、G-7食品システム、G7ジャパンフードサービス

その他事業



その他事業につきましては、アグリ事業においては、消費税増税の影響は見られず、前年売上を保持しました。しかしながら、リユース事業、飲食事業等においては、消費税増税の影響で売上が低迷し前年を下回りました。これにより、売上高は2,746百万円（前連結会計年度比7.1%減）となり、海外市場開拓による諸経費等が増加したため、営業損失は249百万円（前連結会計年度は営業損失62百万円）となりました。



農産物直売所「めぐみの郷」ひよどり台店

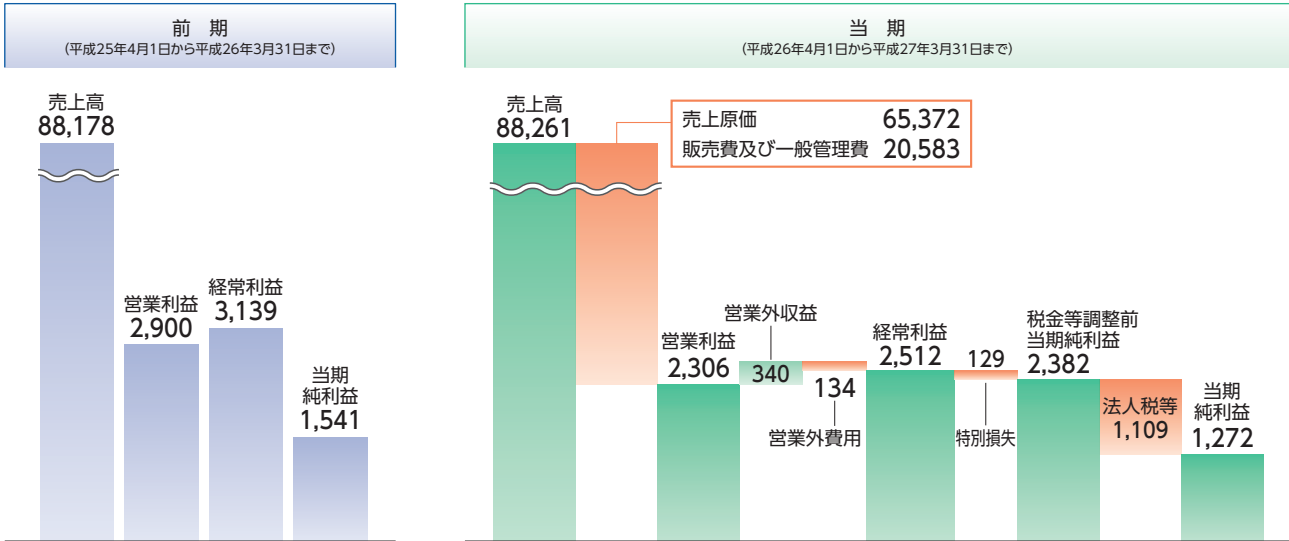
主要品目

農産物の直売、リサイクル用品の買取・販売、不動産賃貸業、飲食店経営等

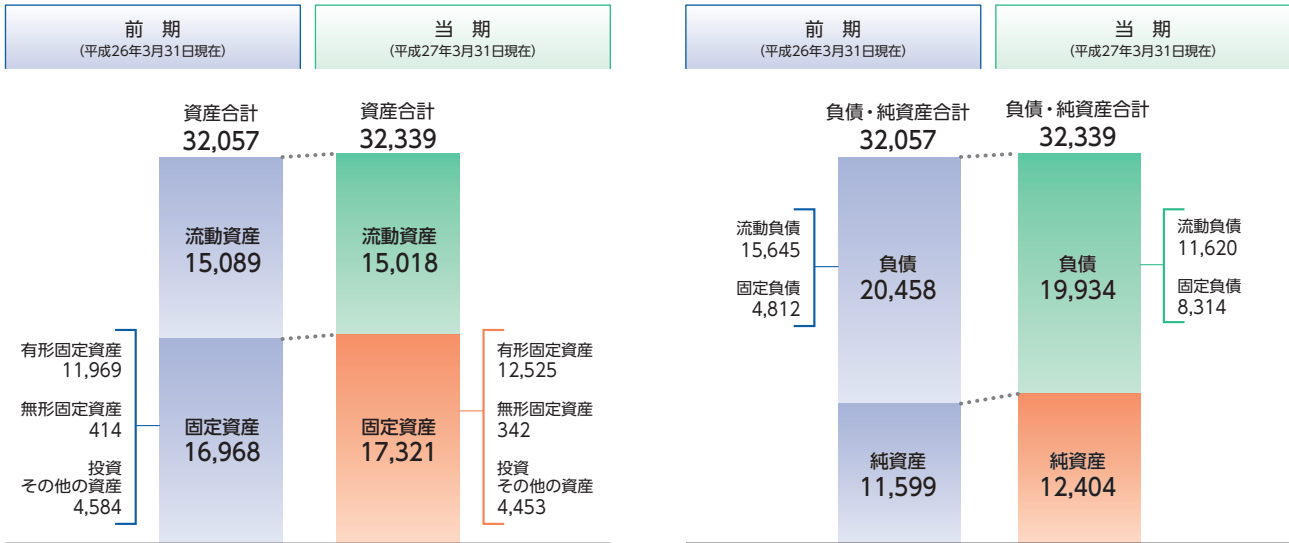
運営子会社

G-7デベロップメント、G-7アグリジャパン、他

連結損益計算書(要旨) (単位:百万円)



連結貸借対照表(要旨) (単位:百万円)



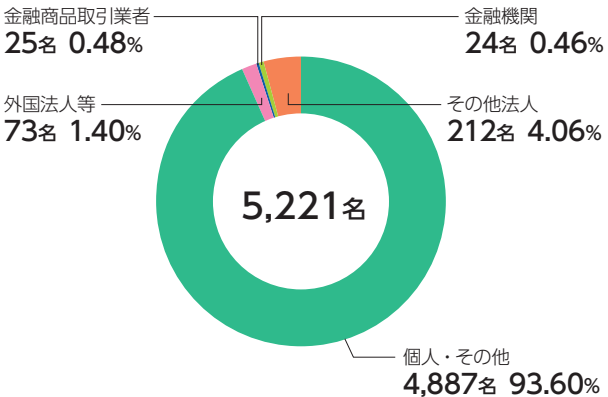
株式の状況 (平成27年3月31日現在)

発行可能株式総数	52,000,000株
発行済株式の総数	13,336,400株
株主数	5,221名

大株主(上位10名)		
株主名	持株数	持株比率
木下 守	1,830 千株	15.04 %
木下 智 雄	1,829	15.03
有限会社キノシタファミリーサービス	1,154	9.48
関 稚 奈 巳	1,129	9.27
木下 陽 子	826	6.78
株式会社オートバックスセブン	337	2.77
MSIP CLIENT SECURITIES	299	2.46
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口)	192	1.58
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	186	1.53
BANK JULIUS BAER AND CO., LTD.	160	1.31

(注) 1. 当社は自己株式1,165,488株を保有しておりますが、上記大株主からは除外しております。
2. 持株比率は自己株式数を控除して計算しております。

所有者別株主分布 (平成27年3月31日現在)



会社の概況 (平成27年3月31日現在)

商 号	株式会社G-7ホールディングス G-7 HOLDINGS Inc.
設 立	昭和51(1976)年6月18日
資 本 金	17億8,570万円
代 表 者	代表取締役会長 木下 守 代表取締役社長 金田 達三
本 社	神戸市須磨区弥栄台三丁目1番地の6
事 業 内 容	傘下の各事業会社を支配・管理する持株会社
従 業 員 数	1,414名(グループ計)
ホームページ	http://www.g-7holdings.co.jp/

グループ企業 (平成27年6月26日現在)

〈国内〉		
株式会社G-7・オート・サービス	株式会社G-7スーパーマート	
株式会社G-7デベロップメント	株式会社G7ジャパンフードサービス	
株式会社バイクワールドジャパン	株式会社G-7アグリジャパン	
株式会社G-7モータース	株式会社テラパヤシ	
〈海外〉		
G7 INTERNATIONAL PTE. LTD.	G7. AUTO. MYANMAR CO., LTD.	
G7 RETAIL MALAYSIA SDN. BHD.	CM G-7 AGRI MYANMAR CO., LTD.	
G7 AGRI VIET NAM CO., LTD.	G7(CAMBODIA) CO., LTD.	
G7 VIET NAM BINH DUONG CO., LTD.	G7-MK(THAILAND) CO., LTD.	
PT. G7 SERVICE. INDONESIA	七福集团有限公司(香港)	
G7. FOOD. MYANMAR CO., LTD.	七福股份有限公司(台湾)	
	七福(成都)餐飲管理有限公司	

役員の状況 (平成27年6月26日現在)

取締役会長 (代表取締役)	木下 守	取締役 坂本 充
取締役社長 (代表取締役)	金田 達三	取締役 福西 裕
取締役副社長	木下 智雄	取締役 志田 幸宏
取締役 岸本 安正		監査役(常勤) 橋本 正治
取締役 松田 幸俊		監 査 役 上甲 悌二
取締役 奥本 恵一		監 査 役 西井 博生

(注) 1. 坂本充氏、福西裕氏および志田幸宏氏は、社外取締役であります。
2. 橋本正治氏、上甲悌二氏および西井博生氏は、社外監査役であります。
3. 当社は、坂本充氏、福西裕氏、志田幸宏氏、上甲悌二氏および西井博生氏を、株式会社東京証券取引所の定めに基づく独立役員として指定し、同取引所に届け出ております。